

施策：	05	農林業の振興	財務コード	--
基本事業：	02	農業生産基盤の整備・保全	担当部	環境経済部
基本事業の 成果指標	地域により保全されている農地面積 条件不利地域の農地支援面積 農業生産施設・設備等に対する支援件数（計画期間内累計） 農道、農業用水路の整備延長（計画期間内累計）		担当課	農政課
			担当係	農政担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成25年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
営農集団及び認定農業者			施設園芸に取り組む営農集団又は認定農業者が設置するパイプハウス導入等に対する補助金を交付する。（県1/3～1/2）						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			< 補助金交付の流れ > 補助金交付申請 補助金交付決定通知 補助金概算払請求 補助金交付 実績報告  < 補助金の内訳 > 令和元年度実績なし						
園芸農業の振興が図られている。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標
補助により設置した出荷者の出荷額		千円	42,406	51,964	52,518	52,518			52,518
5. コスト									
事業費		計	千円	0	4,332				
		国	千円	0	0				
		県	千円	0	4,332				
		地方債	千円	0	0				
		その他 一般	千円	0	0				
正職員人工数		人工		0.1	0.1	0.1			
正職員人件費		千円		803	792				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	0	5,135	792				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		< 状況 > 出荷額は大きく増えている。 < 原因 > 平成30年度に設置した施設の出荷（トマト・アスパラガス）が増えたため。 < 課題 >							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
アスパラガス等の施設野菜の生産には初期設備投資に多額の費用が必要になるため、生産力の向上のため、設備設置に対して補助を行う。									
備考・特記事項 or 進行管理欄									